



上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



ロータリーのマジック

THE MAGIC OF ROTARY



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3038回 例会

2024. 11. 21

会長あいさつ

週報 No.2273
発行 2024年 11月 28日

2024-2025年度
会長 門崎 由幸
幹事 齋藤 哲雄
副会長 坂本 忠光
副幹事 大木 崇寛
編集責任者・公共イメージ向上委員会
委員長 丹井 亮一

ゲスト
2016 学年度
元ロータリー米山記念奨学生
チョウドリ・イムルルさん

行事予定

- 12月 5日 出向者中間報告会
- 12月12日 台南東北RC
周年式典報告
- 12月19日 クリスマス例会
(家族例会)
年次総会
(次年度役員発表)
- 12月26日 定款の規定により休会

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。前回の例会からの報告をさせていただきます。11月16、17日に地区大会が開催されました。16日はソニックシティで午後2時半から本会議が開催されました。内容は地区指導者育成セミナーといたしまして「進化するハラスメントリスク」という基調講演と、座談会でした。17日はレイボックホール大ホールで2日目の本会議が開催されました。多くの会員の皆様にご参加いただきましたことを心より感謝を申し上げます。基調講演「国際情勢と平和構築（米国大統領選挙後の世界とロータリーの平和構築）」が、元フランス大使・元インド大使を歴任された平林博様にご披露いただき、その後、埼玉県知事の大野知事と交え座談会が行われました。また2023-24年、当クラブがロータリー賞を受賞し長沼直前会長に登壇いただきました。来年はいつそう多くの会員の皆様に参加していただければと思います。

地区大会の前、11月10日には、上尾ロータリー杯ソフトボール大会が上尾氷川山公園で行われ、閉会式に齋藤幹事に出席していただきました。ロータリー杯という冠で3チームが参加しました。

また、私ごとですが、15日に花咲徳栄高校の甲子園の決算報告に行ってきました。私は後援会会長を務めており、甲子園では1回戦負けでしたが、寄付金が3000万~4000万円集まり、試合で2000万~3000万円使われたということで、残金は積立金として今後の甲子園出場時に使わせていただくことになります。

そのような中、皆さんもニュースでご存じのように、埼玉栄高校のグラウンドで生徒が運転する車が横転する事故が起きました。19日に会見が行われ、20日には保護者説明会がありました。22日には佐藤栄学園の評議委員会が行われる予定で、私は評議員でして、おそらくその事故の責任問題が出てくるのかなと思っています。1パーセントでも事故に繋がる可能性があるなら、さまざまな管理をしなくてはならないのかなと思います。まずは、お亡くなりになりました生徒さんのご冥福をお祈り申し上げます。

今年度の上期はまだ例会や行事があります。皆さんのご協力をお願い申し上げまして、冒頭の会長あいさつとさせていただきます。



ROTARY CLUB OF AGEO

幹事報告

齋藤 哲雄 幹事

◇11月23日、米山記念奨学生の日帰り研修旅行が行われます。行き先はグリオピア・イーストで、奨学生である王さんと、齋藤修弘カウンセラーに出席をいただく予定です。

◇11月25日、鴻巣イブニングRCさんの創立記念式典と祝賀会がステラ・デル・アンジェロで行われます。こちらは門崎会長と私が出席をさせていただきます。

◇11月16日にJR上尾駅でイルミネーション点灯式が行われました。イルミネーションには当クラブが協賛をしています。お見知りおきを願います。

◇11月17日に行われた上尾シティハーフマラソン大会で、島村会員、大塚崇行会員が完走したという事です。大変な挑戦だと思います。本当にお疲れ様でした。

◇本日、腎・アバンクの資料をお配りしました。ご一読をお願いいたします。

委員長報告

地区R財団部門 資金推進委員会 藤村作委員長

地区で資金推進委員長を務めていて、PHSコーディネーターをしています。地区大会の初日、ロイヤルパインズホテル浦和でPHS&PPS認証状及びピンバッジ授与式ということで午餐会を開催させていただきました。上尾RCの方々にも出席いただき、たいへん感謝しています。今回、人を集めるのに少し苦労しましたが、当クラブや、第5グループの大勢の方々に、参加していただきました。全体で80名ぐらいの午餐会でしたが、そのうち1/5~1/4は第5グループで占めたようでしたので、あらためて御礼を申し上げます。本日の例会前に岡村ガバナーから電話がかかかってきて、門崎会長はじめとする上尾クラブの皆さんに「ありがとうございます」とお礼の言葉を送っていただきました。本日の齋藤資金推進委員の例会主題も楽しみにしています。



お客様からあいさつ

元米山記念奨学生 チョウドリ・イムルルさん

皆さんこんにちは。チョウドリ・イムルルと申します。2016学年度に米山記念奨学生として大変お世話になりました。改めてありがとうございます。2019年3月に名古屋に転勤になった時、ごあいさつでお訪ねさせていただきましたが、それ以来、久しぶりに例会に出席させていただきました。私はバングラデシュ出身です。皆さんの地区=RID2770地区で造られた学校の卒業生で日本に参りました。日本に来て、ロータリークラブのおかげで日本語学校と大学も卒業ができ今も日本にいます。ただし現状はあまり良くなく、私は6月に一身上の都合で仕事を辞め、3ヶ月あまり就活をしてみました。なかなかうまくいっていません。一旦、母国に帰ろうかなと思いましたが、バングラデシュでは学生運動が始まって、政権が倒され暫定政権になって、国内情勢も良くなって帰国を思い留め、かと言って仕事がないと日本で生活していくのも難しく、ちょっと焦っているところです。仕事が決まれば引き続き日本で頑張ってもらいたいと思っていますので、お世話になった皆様方や、お知り合いの会社で求人がありましたら、ぜひ紹介いただきたいと思います。あまり良い報告ではありませんでしたが、これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



例会主題

地区R財団部門 資金推進委員会 齋藤修弘委員

皆さん、こんにちは。今年度、地区のロータリー財団部門の資金推進委員会に出向しております。

今月はロータリー財団月間ということで例会主題を任されたのだと思います。

本日のお話しは3つあります。1つ目「ロータリー財団とは何か」、2つ目「ロータリー財団の資金の流れについて」、3つ目「グローバル補助金について」です。

1つ目の「ロータリー財団とは何か」です。国際



ROTARY CLUB OF AGEO

ロータリー：RIと、ロータリー財団：TRFがあり、別個の存在になったのが1928年の国際大会の時です。国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解・親善・平和を推進することです。ロータリー財団の使命は、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を構築できるよう支援することです。標語としては、doing good in the world「世界で良いことをしよう」を掲げています。

ロータリーには、大きく2種類のプログラムがあります。1つ目が国際ロータリーのプログラムで、2つ目がロータリー財団のプログラムです。RIのプログラムは、ロータリアンの子弟が参加できますとか、TRFの方はロータリアン3親等以内の関係者は参加できますとありますが、財団のプログラムとしては、ポリオ・プラス、補助金、平和フェローなどが代表的です。

プログラムの原資を考えてみましょう。RIの方は、人頭分担金です。TRFのプログラムの原資は、ロータリアンがTRFに寄付した資金で捻出されます。つまり財団のプログラムを行うために、毎年寄付のお願いが言われています。それで地区のロータリー財団の役割は、お金を集めるという大切なミッション=寄付を募ること、そして補助金を正しく使うことの2つになります。皆様からお寄せいただいた寄付が運用されて、地区財団活動資金(DDF)が事業として利用可能であり、そのお金が正しく使われているかを確認することがとても大事です。

ロータリー財団の透明性についてですが、チャリティーナビゲーターという、慈善団体の格付けを行う機関で、ロータリー財団は16年連続最高評価の4つ星をもらっています。9000以上ある慈善団体の中、4つ星はわずか1パーセントにしか与えられないということで、非常に透明性があり、非常に高潔な事業をやっていることになります。

2つ目の「資金の流れについて」です。ロータリー財団で集めた資金をどのように使うかをご説明いたします。原資はロータリアンからの寄付である年次資金、恒久基金、ポリオ・プラス、災害救援などその他の基金になります。資金の流れで、年次基金では例えば100ドルの寄付があったとして、これが運営費で5パーセントの5ドルが引かれ、残りの

95ドルのうち半分、47.5ドルがWF(国際財団活動資金)に、残りの半分がDDF(地区財団活動資金)になります。

補助金の種類では、地区補助金、グローバル補助金、ロータリー災害救援補助金、大規模プログラム補助金があります。2021-22年度の各補助金のRI全体での授与の内訳は、全体で11,000万ドル(160億円)あるうち、地区補助金の件数が478件で2,700万ドル、災害救援補助金が800万ドル、グローバル補助金が7,300万ドル、大規模プログラムが200万ドルでした。

3つ目の「グローバル補助金について」です。グローバル補助金の用途は重点分野が7つあり、「疾病予防と治療」に関する補助金が約半数を占めています。グローバル補助金の目標は世界中の人々の生活改善です。先ほどの7つの重点分野のいずれかに関連して持続可能な成果をもたらすことと、長期的で大規模なプロジェクトに使用します。国際財団活動資金(WF)の最高授与額は40万ドル、今のレートにして約6000万円に引き上げられました。

グローバル補助金の要件としては全部で9つあります。①7つの重点分野のいずれか一つ以上に属すること。②持続可能かつ測定可能な成果をもたらすこと。③3万ドル以上の大規模なプロジェクト。④実施国にロータリークラブが存在する。⑤実施地側の地域社会が特定したニーズに取り組む。⑥事前に地域調査を実施し、その結果を補助金申請書に含める。⑦実施地側の人々の知識とスキルを高め、リソースをもたらす。⑧ロータリアンが積極的に参加する。です。また7つの重点分野とは、①平和構築と紛争予防。②疾病予防と治療。③水と衛生。④母子の健康。⑤基本的教育と識字率向上。⑥地域社会の経済発展。⑦環境の保護。です。グローバル補助金の種類は、人道的プロジェクト、奨学金、VTT(職業研修チーム)の3つに大きく分かれます。

また資金と、ロータリー財団は、ロータリアン自身が助金を集め、ロータリー自身が使える補助金で世界で良いことをする、自分たちの財団ということになります、という認識を持っていたければ幸いです。世界で良いことができると同時に、地域でも良いことができます。今後ともロータリー財団へご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。ご清聴いただきありがとうございました。

スマイル

齋藤修弘委員 卓話ありがとうございました。

丹井会員 私の愛犬が、先日の茨城訓練チャンピオン決定競技会で優勝しました。

門崎会長/齋藤哲雄幹事/坂本副会長/大木崇寛副幹事/大塚信郎会員/小林会員/尾花会員/大木保司会員/大塚崇行会員/島村会員/齋藤重忠会員/関口和夫会員/藤村会員/須田会員/樋口会員/宇多村会員/長沼会員/齋藤修弘会員/関口良康会員/山崎会員/荒井会員/原田会員

出席率

会員数	33
出席免除	2
出席対象者	31
出席者数	23

74.19%

第3037回例会 地区大会が開催されました

2024,11,16-17

於:ロイヤルパインズホテル浦和
ソニックシティビル、パレスホテル大宮
レイボックホール大ホール

16日:PHS&PPS午餐会2024にて大木保司会員、島村会員に認証状とピンバッジ授与されました。

17日:参加クラブ紹介で門崎会長が登壇しました。

2023-24年度ロータリー賞を当クラブが受賞し長沼直前会長が登壇しました。

新会員紹介では原田会員が登壇し、米山記念奨学生・王曉瑜さんがスライドで紹介されました。

地区に出向し設営された皆さん、当日出席された皆さん、たいへんお疲れ様でした。



例会日 毎週木曜日12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303

例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

